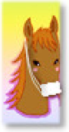
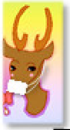
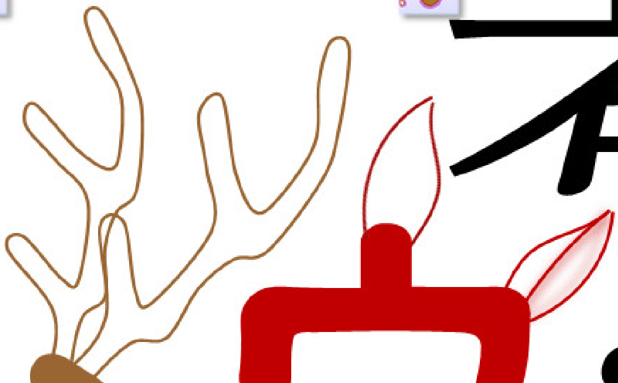
 

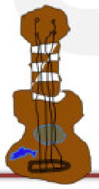
考



シウえ

第ムシ回　『スパイダーマン』とマスクの下

美化、
してますか？

弦楽器イルカ⇔友人

目次

第ムシ回『スパイダーマン』とマスクの下 ～**G** から **U** へ～ 1

第ムシ回『スパイダーマン』とマスクの下 〜G から U へ〜

　前から書こうと思ってたんだけど、マスクしてる人を無意識で脳が美化補正してるって経験について、軽く調べたらネット記事や論文があったけど、学者に詳細に調べてほしいなと思ってて。ちょっと U が好きそうな話であるよね。
　なぜ人は無意識で顔の隠れた部分を美化して補正するのか。具体的にどういう顔に補正しているのか。マスクを取る前の補正と、取った後の顔で、どのくらい差があるのか。顔の好みや人種による違いはどうあるのか。

　マスクだけじゃなくて、人間は無意識的に見たい部分だけを見るし、見えないところは自分に都合がいいように美化して補正する。さらに意識的に心地よい話だけを受け入れて、不快な話を排除する場合もある。イデオロギーとかにも充分当てはまる話だ。

　んで、こっから本題なんだけど。
　無評の評は俺しか言ってないから仕方ないけど、「いいね！」の文化は無知の知を破壊するためにあるんだと思う。
　違法かどうかの議論ならまだしも、「〇〇が悪」って偉い大学の学者まで断言しだして、ジョークかと思ったらどうもマジだった。
「先に主権国家に侵攻したほうが悪」って言うなら、この国は悪の国だ。悪人の子孫が「ボクちんよりもあいつの方が悪だモン」って、学者として無知を知れと思う。
　学者が悪を決め付けたら、それは思考停止であり学問の放棄だから、政治家の犬になって金儲けしたいってただのカミングアウトにすぎない。

　こっからわざと強く書くけど。
　お前が勝手に何かを悪と決めつけること自体、俺には無意味で興味ない話だけど。
　でもだいたい、もしそれを悪だと決めつけたなら、だったらお前はその悪をどうするんだ？
　お前が決めた悪なのに、騒ぐだけ騒いで、クソして寝るだけか？
　お前は悪に立ち向かったり命をかけて打倒する気概もなく、他人が命がけでその悪と戦ってるのを屁をこいて尻かきながらせんべい片手に観戦するだけか？

自分がマウント取りたいがために、他者を攻撃する材料にだけ、便利に悪って言葉を使う、それがお前にとっての悪か？

だったらそんなものは悪でもなんでもない。お前に都合のいいただのビジネス悪だ。むしろ本当の悪はお前自身と言ってもいいくらいだ。

だって少なくとも、シロクマとかペンギンからしたら人類は温暖化の悪の権化なんだから、一回滅んだほうがサステナブルだ。

無知の知を知っているなら、他人の戦争を無断で飯の種には使わない。他人の苦痛や死を無断で自分のマウントの材料には使わないはずだ。

前にガンダムとマクロスの比較で書いたけど、世間はガンダム的な戦史や英雄譚に魅力を感じやすいし、自分とは関係ない他人の戦況を上段から語りたがる。

でも、マクロス者にとって戦況よりも大事なのは自分の生活の延長線上にある日常であり、マクロス者が真っ先に語るのは敵との戦闘ではなく、いかに物語と関係なく柿崎があっさり死ぬかだ。

悲哀と滑稽と郷愁と無残と現実とその他モロモロを、いかなる言葉よりも雄弁に、柿崎の死は教えてくれる。

ここ、ウマシカな誇張と脱線があり過ぎるけど。

ひるがえって、学問は無知の知から始まるはずだ。己の無知を知れば、勝手に悪を決め付けることなどできない。

無知の知を捨てて、西側は大した検証もなく露がやったって決め付けてしまうと、これからは烏の民族主義者がどんなに親露の自国民を殺しても、全部「露が殺した」ことにできて、他国から金と武器がどんどん支援されるだろう。

それが本当に、烏の国民全体のためになるのか。

東側も西側も俺は信じないし、親露でも親烏でもなく、俺は無評の評であり親卵だから、「ムヒョ〜のヒョ〜と卵なめんな！」ってマジで思うよ。

烏の国家国境警備隊の公式 HP で、国民総動員令の召集令状から逃れようとして捕まってる人々や、子供が描いた兵士や軍艦の絵を見れば、国内で紛争が続いてきた国の愛国的民族主義の一端を知ることが出来る。「腐敗防止」ってクリックすると、汚職または汚職関連の犯罪を犯した人を密告もできる。それは戦争がずっと続いている国内では、当然あることなんだと思う。

お前が烏を応援するならば、そこには必ず責任が発生する。力にはそれに見合った責任が伴うからだ。特に冗談でなくスパイダーマン的に言えば。

だからまずは認識したほうがいい。お前が烏を応援したせいで、この人たちは捕まって、子供や家族と引き裂かれて、行きたくない戦争に行かされる。何人かは死ぬか、もう死んでるかもしれない。
それぞれ守りたいものは違うから、お前に「応援するな」と俺は言えない。だがせめて、無自覚にその背中を押すな。その人の背中に触れた手の感触くらい覚えておくのが責任だ。自分の手がいかに汚れているか自覚し、その死に敬意を払うのが責任だ。
子供たちと妻と車に乗って、一か八かで国境を超えようとして、ベビーボックスから引きずり出される父親は、もう誰かを殺したのか、それとも殺されたのか、まだ生きているのか。
自分好みな悪を無知の無知で語る前に、せめてそのくらいは考えた方がいいと俺は思う。

この国に真の右なんていない。真の右は、国の誇りを残せるなら国民全員死んでも構わない。だから右には集団自決と万歳突撃の地獄しかない。右のお花畑はあの世だけだ。

その地獄がイヤだから、この国は右を捨てた。足を切り売りするタコのように、争わずに生きていくのを決めた。この国の政治は、全員左がどこまで右に寄れるかチキンレースしてるだけの、ただの内ゲバ祭りだ。他人の生き死にでマウント取る無知無知な政治家と国民が、ビジネスと快楽で悪を語ってるだけだ。

西側の報道では、露の侵攻は大失敗で、中露は共倒れで明日にも崩壊するって話だから、何もせず黙って様子を見てればいい。米が警察をやりすぎて衰退したように、新しい警察を引き受けた中露も同様に衰退して軍縮する未来なら、この国にとっては都合がいいだろうし、この国が急いで軍拡する理由はない。

ただ、自分と主張は真逆でも、正確な情況を把握しているかどうかだけが、報道にとって一番大事なはずだ。
だが古今東西、人は正確な情況よりも、見たい部分だけ見て、見えないマスクされた部分は脳内で補正して、自分にとって気持ちいいかどうかで報道を選ぶようにできている。

烏の一般市民が徴兵されてる一方、金持ち権力者の家族や親族は地方に避難してるって言われてる記事も読んだ。
どうせそれぞれの為政者には支援する金持ちがいて、最終的には落としどころも決まっている。もし為政者が密約なしで打ち合うほどバカなら、人類はいっそ滅んだほうがやはりサステナブルだろう。

露は材料を持っているのに、本気で反論してないと俺は思う。わざと曖昧に「信じたい人だけ信じればいい」といった温度の反論しかしてない。
（どこまで本当か分からないプロパガンダばかりだけど、少なくとも大きな話題になった妊婦が真逆の証言動画を数回流している点については、何がどうなっているのか確認することが、彼女と子供の命を守ることにつながるんじゃないかと俺は思ってる）

だからこのままいくと西側と東側が、それぞれ全く逆の物語を信仰するようになる。
「捏造しているのはあいつらだ」とお互い反目し合う物語が、西側と東側を今後、長く分断することになるだろう。
そして結局、報道されているように、烏は長期間紛争地帯として、必要悪にまみれるんだろう。
それは、他の国にも飛び火するかもしれない。

「世界の金持ちが望んでるのは、世界を西側と東側に分断して、卵を潰し合わせて儲けることでした。最終的には全員が疲弊すれば、残った人類でもう一度グレートリセットします。西側についた諸国は、今まで加害者だった側ではなく今度は被害者側として世界の金持ちに狙われてるって気付くときには、もう死んでいました」
ここフィクションね。面白くないし。

人間の脳は、遺伝子を残すために進化して、意識を作り出した。
意識が生まれたことで、記憶と将来が生まれ、過去現在未来と結びつく幸福が生まれた。
幸福とは遺伝子にとって、生命が生き残るために与えた幻想の飴であり、弱肉強食という現実の鞭を緩和する役割を持つ。
だから意識や幸福とは、遺伝子を残すために生まれた副産物であり、それ以上ではない。
そして遺伝子の生存のために、意識を持つ生物も、意識を持たない生物も、それぞれに見合った社会組織を形成している。

遺伝子にしたがって自己や子孫を守って死ぬか、意識にしたがって組織を守って死ぬか。
俺はマクロス者であり親卵派だから、守りたいのは個人主義であり、文化なんだと思う。
でも世界の人々の優先順位として、文化や卵を守ろうとする意識は低く、遺伝子や組織を守りたい意識は強い。
だから今まで通り、一般市民は無知に無知なムチムチのムシ考として殺し合いをさせ

られて、その血肉は金持ちの金儲けに使われる。

卵がゆるやかに連帯する文化を強化しないと。今からでも春樹さんが福島で甲状腺を手術した子に聞き取りに行かないと、冗談ではなく本気で。

あと映画業界の性暴力・性加害の撲滅を原作者の作家陣が連名で声明を出したけど、だったら春樹さんが主導して世界の作家陣で「全世界の民間人が連帯して、招集令状による国家の徴兵を規制する」署名活動を始めたらいいと思う。

烏軍だけでなく、今度は親露地域の烏国民を、露軍が招集令状で徴兵してるって報道も読んだから、公平という意味でも、どちらの徴兵も拒否できるような規制をしたほうがいい。

そうでなければ、卵がまとめて壁に潰されるのは時間の問題な気がするよ。

まぁ今回は無知の知な妄想を書きすぎたね。

笑いのことを書きたいと思ってる。またね。

弦

考えるウマシカ～第ムシ回 『スパイダーマン』とマスクの下～

著　　弦楽器イルカ

制　作　Puboo
発行所　デザインエッグ株式会社